

【施設状況】

グループ名称	青少年錬成センター											
指定管理者名	株式会社オーエンス							法人番号	5010001039404			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課			副						
構成施設	3392	青少年錬成センター										
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制		
施設概要	青少年錬成センター本館(宿泊棟、食堂、厨房、柔剣道場、体育館、工作棟、キャンプ場、炊事場、多目的グラウンド、アスレチック) 青少年錬成センター分館(宿泊室、研修室、自炊室、食堂)											
施設設置目的	長野市青少年錬成センターは、規律ある集団宿泊活動を通し自立、協同、友愛、奉仕の尊さを学習し、普段の家庭や学校生活では得難い体験をすることによって、明るく、たくましく、心身ともに健全な青少年を育成する。											
基本方針等	青少年に対する野外、屋内での各種体験活動を中心とした、指定管理者の創意工夫に基づく管理運営によって、年間を通じて集客を図り、また地元住民の積極的雇用を図ることにより、施設が有効利用され所期の目的を達成することを目指す。											
主な実施事業	・センターの受付予約等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務(企画事業)											

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス				当該指定管理者の 指定回数	4	回
指定期間	令和4年4月1日		～	令和9年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成21年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
	幼児	人	81	103	48	142	296%	
	小学生	人	1,080	1,914	1,317	1,160	88%	
	中学生	人	223	487	618	535	87%	
	高校生	人	61	109	241	159	66%	
	一般・引率	人	1,464	1,601	1,086	1,173	108%	
	計	人	2,909	4,214	3,310	3,169	96%	
(特記事項) 猛暑や台風の影響による団体利用のキャンセルがあった。また、施設付近で熊の出没情報があった際も団体利用のキャンセルがあった。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・センターの受付予約等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務						
	自主事業	親子でバーベキュー、親子でカレー作り、子ども陶芸体験、親子でヨモギスプレー作り、親子で竹笛作り、親子で豚汁作り、親子でおやき作り、親子で餅つき、親子でやしうま作り			・追加事業：親子でピザ作り、親子で手打ちうどん作り ・未実施事業：親子でしめ縄リース作り (理由：指導者を確保できなかったため。)			
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・一言アンケートの活用、リーフレット設置等 ・温暖化による異常気象への対応(設備補修・猛暑日用の扇風機設置等)、熱中症対策の為の製氷機導入						

3

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		4
	(2) 調査、会議等の内容 利用者へのアンケート配布や館内意見箱、ホームページのお問合せフォームにおいて実施			
	(3) 調査、会議等の結果 要望・クレームの多かった温暖化・猛暑日の長期化の暑さ・熱中症対策として製氷機の設置とサーキュレーターの増設を行った。 アンケートの総合的な満足度では「満足」「やや満足」が10割という良い結果となった。特に、従業員の対応の項目では「満足」が83.8%、イベント内容の項目では「満足」が85.7%と高い満足度を示す結果となった。			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 職員の対応が良かった。 主催事業が良かった。 自然の環境が良かった。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 冷房が欲しい。 夜が暑くて寝れない。 夜寝ている間に熱中症気味になった。 今どき冷房が無い施設なんて無い。 年々、暑くなっているなので施設を利用しづらくなっている。			
	《対応措置》 令和7年度に熱中症対策として製氷機を導入。 冷房の設置を計画した。 熊対策として、熊すずや熊スプレーの貸し出しを行った。			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	指定事業	利用料金	9,677,000	利用料金	3,891,179	歳入	使用料	10,183		使用料	10,528
指定管理料		22,500,000	指定管理料	22,500,000	雑(納付金)			雑(納付金)			
委託料			委託料		行政財産目的外使用料		1,237	行政財産目的外使用料	1,265		
販売収入等			販売収入等		貸付料		6,600	貸付料	6,600		
その他収入			その他収入		その他			その他			
			R6年度補填	467,500	利益配分		利益配分				
収入計		32,177,000	収入計	26,858,679	計	18,020	計	18,393			
人件費		18,500,000	人件費	17,022,785	歳出	指定管理料	22,500,000	指定管理料	22,339,000		
設備管理費		2,900,000	設備管理費	2,307,372		委託料	296,268	委託料			
備品購入費		300,000	備品購入費	0		需用費		需用費			
修繕費		1,000,000	修繕費	1,361,064		役務費	83,600	役務費	83,600		
光熱水費		2,800,000	光熱水費	3,361,316		使用料・賃借料	200	使用料・賃借料	200		
事業費		1,000,000	事業費	1,563,803		修繕費	1,804,000	修繕費			
事務経費		3,000,000	事務経費	3,554,827		工事請負費	2,000,900	工事請負費	1,298,000		
本社経費		900,000	本社経費	900,000		備品購入費		備品購入費	183,700		
その他		1,777,000	その他	1,348,397		その他		その他			
			利益配分			R6年度補填	467,500	R5年度補填	89,115		
支出計		32,177,000	支出計	31,419,564	計	27,152,468	計	23,993,615			
指定事業損益	0	指定事業損益	-4,560,885								
(利益配分を除く指定事業損益)	0	(利益配分を除く指定事業損益)	-4,560,885								
自主事業	収入	185,600	収入						120,000		
	支出	148,480	支出	96,600							
	自主事業損益	37,120	自主事業損益	23,400							
損益	37,120		-4,537,485	差引	-27,134,448		-23,975,222				
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									54.2%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

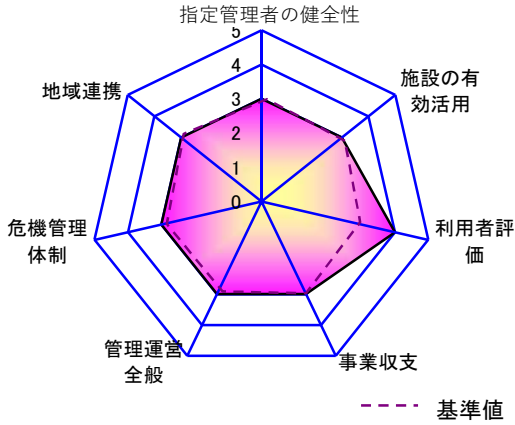
管理運営全般	区分	確認内容	チェック欄	評価	
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			センター長1名(常勤)、運営管理スタッフ3名(常勤)、厨房スタッフ1名(常勤)
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	☒		
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒		
2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか					

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・地元雇用の促進 ・地元事業者の採用(物品購入・業務委託) ・地元の環境整備(草刈りなど)	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 64 
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	

評価理由	アンケートでは良好な評価がされ、特に従業員の対応やイベント内容といったサービスについて良い評価を得ていた。また、利用者から特に要望を寄せられた暑さへの対策として製氷機を購入するなど、できる限りの対応を行った。さらに、施設近隣での熊の出没情報によるキャンセルがあったことから、利用者が安心して施設を利用できるように新たに熊スプレーを購入して対策を行った。以上のことを評価し「利用者評価」は「4」とした。		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・様々な媒体を使った情報発信をするなど積極的な広報をすることで利用者の回復に努める。 ・利用者のニーズに応えた自主事業の充実を図る。 ・利用者の快適な利用のため、施設整備に努める。特に令和8年度からはエアコンの設置をすすめる。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・ユニバーサル7原則(①誰でも公平なサービスを②利用者の立場に立った対応③利用者個々に応じた柔軟な対応④明るく元気な対応⑤簡単な手続きでサービスを提供⑥迅速・丁寧な対応⑦必要な情報を正確に提供)に基づいたサービスを心がけた。

・利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。ヒヤリハットが発生する前の予防処置として危険箇所・危険要因排除の徹底を行った。

② 業務の効率化に対する取組み

地元高齢化、人手不足により繁忙期の臨時職員を使わず常勤職員で何とか運営した。
物価高騰により極力経費削減に努めた。

③ その他

・安心安全な施設環境の提供の為、日々巡回を行い、危険箇所の特定し、早期対応を図った。(倒木防止の措置、蜂の巣の処置等)
・施設、設備の老朽化が進行しており、利用者の安全を確保する為に適切な立ち入り禁止・使用禁止措置を講じた。
・熱中症対策の勉強会を実施し、職員の熱中症の理解を深めた。
・熱中症対策の為、製氷機を導入した。(利用者・職員用)

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・施設の老朽化が進んでおり、早めの修繕と長野市への報告・協議を行っていく。
・地元の高齢化、過疎化により繁忙期の臨時職員の採用が困難な状況である。来年度は常勤職員を1名増やす必要が出てきた。
・令和7年度は修繕が多く発生し、予算を大きく上回ってしまった。
・温暖化による熱中症対策が必要となる。
・温暖化・猛暑日の長期化による客離れが著しい為、冷房の導入が必要である。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

令和7年度は収入は依然として低い状態が続いているが昨年度に対し少し増額となった。(419,146円)
支出に関しては売上減少、人手不足を加味し、常勤職員で乗り切った。
施設の調査・予防保全に特に力を入れ、時利用者に安全・快適に利用して頂けるような環境整備を行った。
猛暑日の長期化が進む中、施設として製氷機・サーキュレーターの設置等、出来る限りの事は行った。
施設・設備の老朽化に対し、的確に修繕を行った。(修繕費は計画を上回ってしまった。)

② 次年度以降の取組み

令和8年度は自主事業の開催回数を増やし、利用者数増加に努める。